

I 調査の概要

【調査の目的】

瀬戸内市がめざす将来（2040年）の姿を、市民の皆様が現在どの程度実感し、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握するとともに、第2次瀬戸内市総合計画の数値目標に対する現状値を把握することを目的として実施した。

【調査対象】

18歳以上の市民2,000人

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

平成30年（2018年）5月

【回収結果】

配布数 ----- 2,000件

有効回収数 ----- 815件

有効回収率 ----- 40.8%

◆地区別回収結果（上段：回答件数、下段：構成比％）◆

	牛窓地域			長船地域				
	牛窓	鹿忍	長浜	美和	国府	行幸		
815	143	62	47	34	275	30	89	156
100.0	17.5	7.6	5.8	4.2	33.7	3.7	10.9	19.1

邑久地域									無回答
	邑久	福田	今城	豊原	本庄	笠加	玉津	裳掛	
387	117	60	61	43	36	20	16	34	10
47.5	14.4	7.4	7.5	5.3	4.4	2.5	2.0	4.2	1.2

※「問4. (3)居住地」の回答結果より

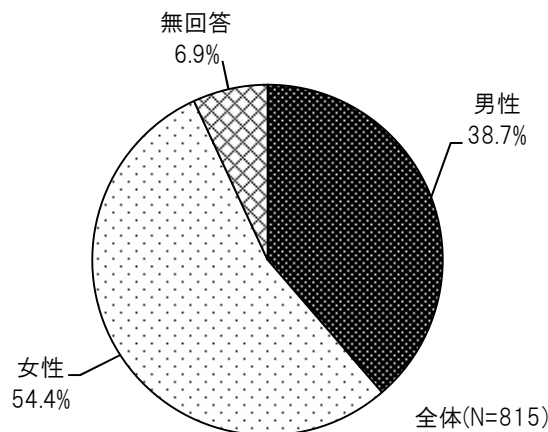
【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢層別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢層別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 図表中、クロス集計の項目軸については、長文を省略している場合がある。
- (7) 設問によっては、平成28年度に実施した同調査(「前回調査」と表記)との比較をおこなっている。
- (8) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載している。

Ⅱ 回答者の属性

1. 性別

性別構成比は、「男性」が38.7%、「女性」が54.4%となっている。

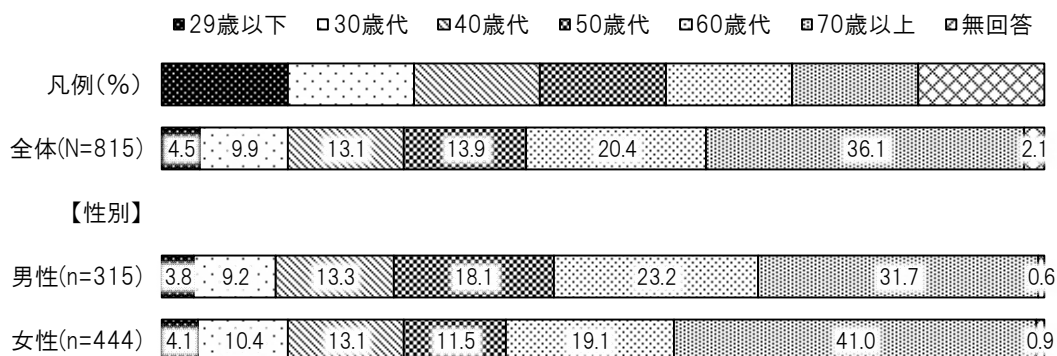


注：調査票では「男」「女」という選択肢表記であるが、本報告書では「男性」「女性」と表記している(以下同様)。

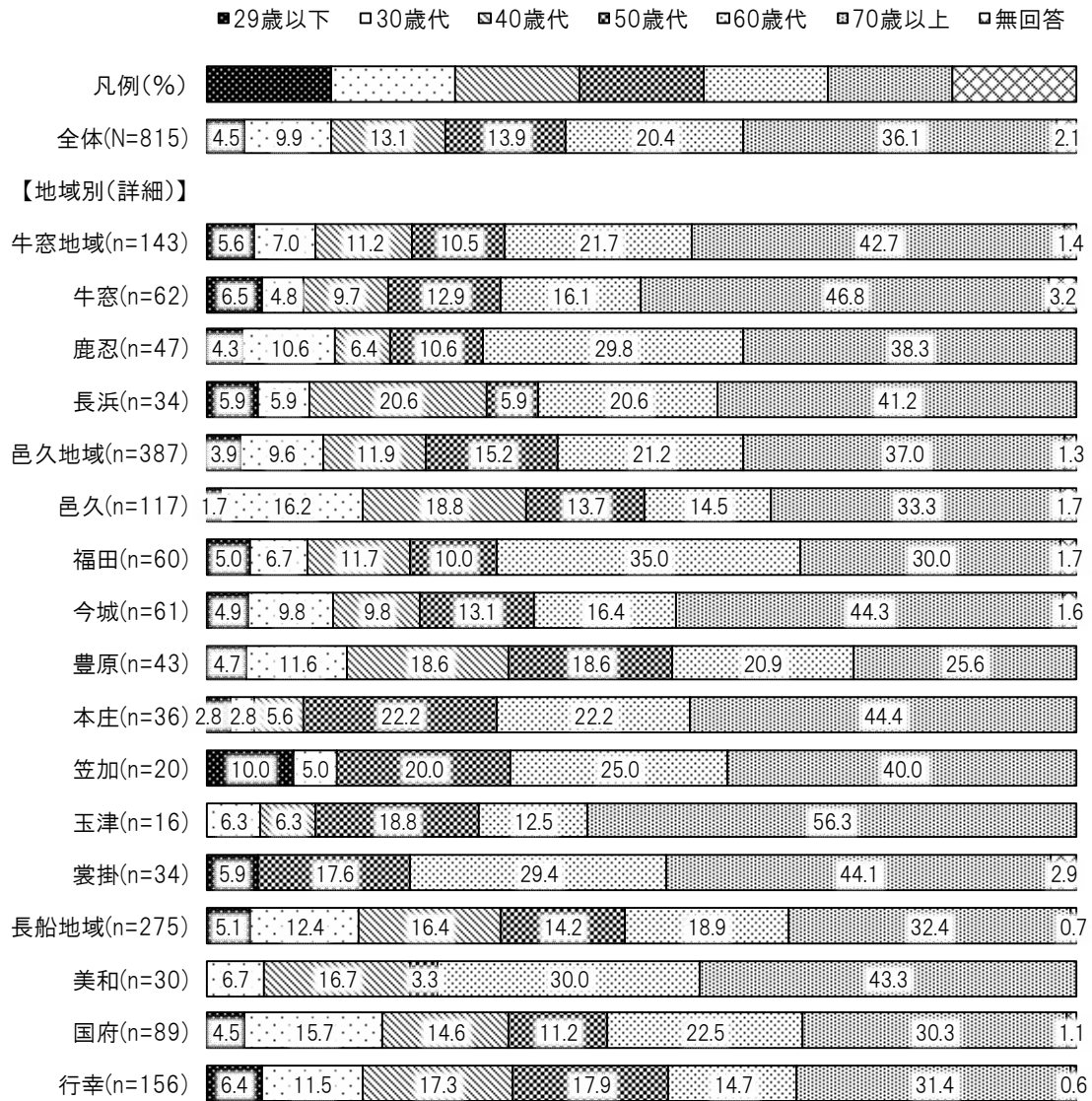
2. 年齢

年齢別構成比は、「70歳以上」が36.1%と最も高く、次いで「60歳代」(20.4%)、「50歳代」(13.9%)の順となっており、「50歳以上(合計)」で全体の約7割(70.4%)を占めている。

性別では、男性は女性に比べ「50歳代」「60歳代」の割合が高く、女性は「70歳以上」の割合が男性を大きく上回っている。



さらに、年齢別構成を地域別でみると、長浜、邑久、豊原、国府、行幸で40歳以下の占める割合が他の地域に比べて高く、相対的に長船地域で若い年齢層が多くみられる。一方、玉津では「70歳以上」が過半数を占めている。

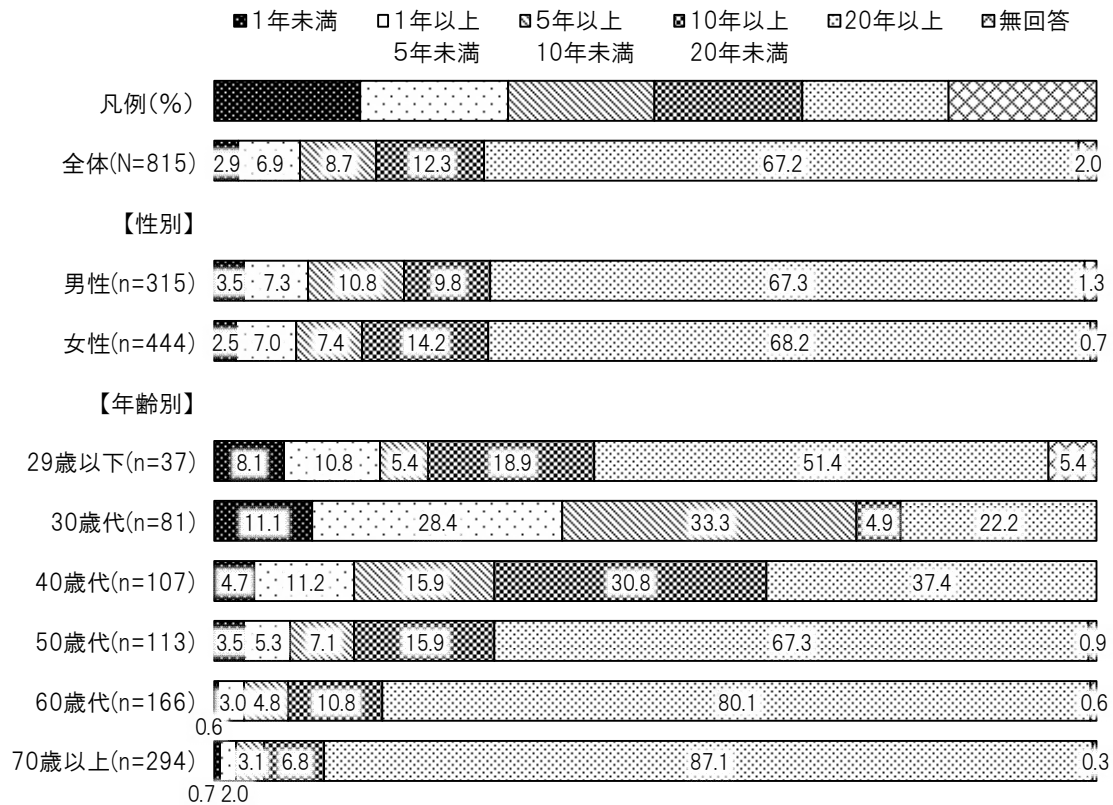


3. 居住年数

居住年数は、「20年以上」が全体の7割近く（67.2%）を占め最も高く、次いで「10年以上20年未満」が12.3%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「10年以上20年未満」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「20年以上」、30歳代で「1年以上5年未満」「5年以上10年未満」、40歳代で「10年以上20年未満」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。また、おおむね年齢が上がるほど「20年以上」の割合が増える傾向にある。

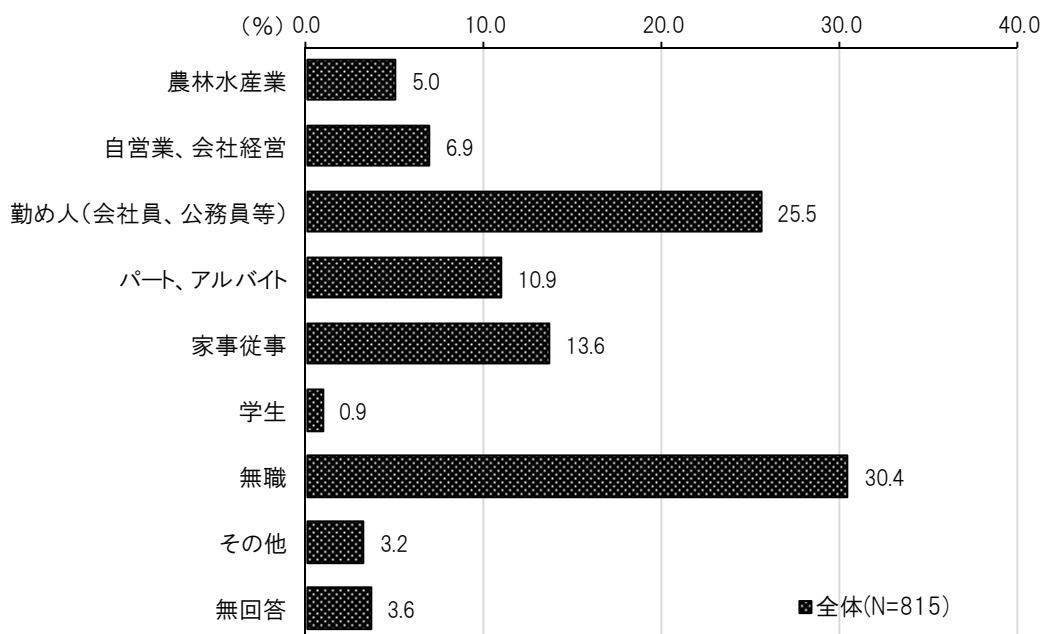


4. 職業

職業は、全体では「無職」が30.4%と最も高く、次いで「勤め人（会社員、公務員等）」（25.5%）、「家事従事」（13.6%）、「パート、アルバイト」（10.9%）の順となっている。

性別では、男性で「自営業、会社経営」「勤め人（会社員、公務員等）」「無職」、女性で「パート、アルバイト」「家事従事」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「学生」、40～50歳代で「パート、アルバイト」、60歳以上で「無職」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



単位 (%)	農林水産業	自営業、会社経営	勤め人(会社員、公務員等)	パート、アルバイト	家事従事	学生	無職	その他
全体(N=815)	5.0	6.9	25.5	10.9	13.6	0.9	30.4	3.2
【性別】								
男性(n=315)	6.7	10.2	37.5	4.8	0.6	0.6	34.0	3.2
女性(n=444)	4.1	4.7	16.0	15.5	23.6	0.7	29.3	3.4
【年齢別】								
29歳以下(n=37)	2.7	2.7	51.4	13.5	5.4	18.9	2.7	2.7
30歳代(n=81)	0.0	2.5	59.3	13.6	14.8	0.0	7.4	1.2
40歳代(n=107)	0.9	7.5	57.9	20.6	6.5	0.0	1.9	3.7
50歳代(n=113)	0.9	11.5	47.8	20.4	7.1	0.0	6.2	4.4
60歳代(n=166)	6.0	9.6	11.4	12.7	19.3	0.0	36.7	1.8
70歳以上(n=294)	9.2	5.4	1.7	2.0	16.7	0.0	57.1	3.7

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。

（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、「その他」については、網掛けは省略している。

また「無回答」は表記から省略している（本報告書においては、以下同様）。

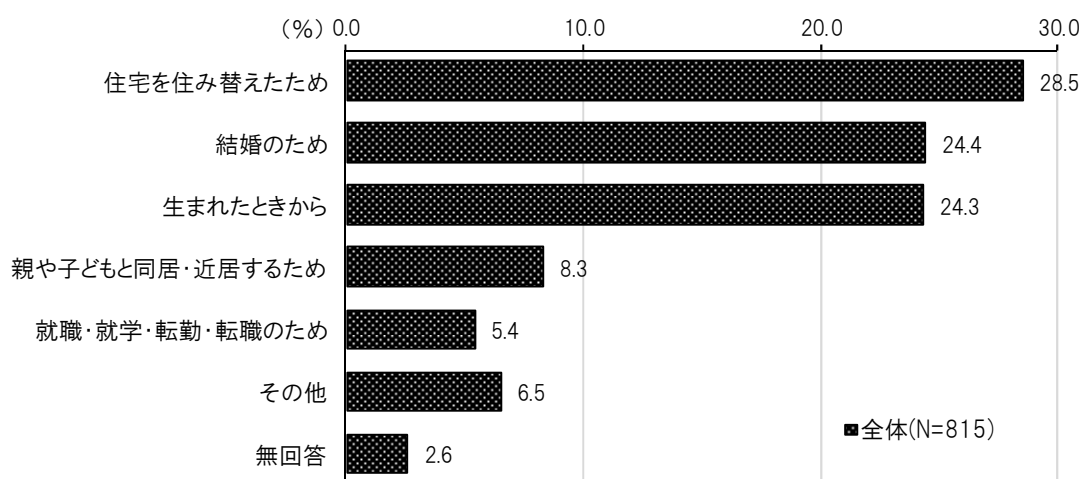
5. 現住所への居住のきっかけ

現住所への居住のきっかけについては、全体では「住宅を住み替えたため」が28.5%と最も高く、次いで「結婚のため」(24.4%)、「生まれたときから」が24.3%の順となっている。

性別では、男性で「住宅を住み替えたため」「生まれたときから」、女性で「結婚のため」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「生まれたときから」「就職・就学・転勤・転職のため」、30歳代と70歳以上で「結婚のため」、50歳代で「住宅を住み替えたため」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べ高くなっている。

地域別でみると、牛窓地域で「生まれたときから」、長船地域で「住宅を住み替えたため」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高くなっている。



単位 (%)	住宅を住み替えたため	結婚のため	生まれたときから	近親や子どもと同居・近居するため	就職・就学・転勤・転職のため	その他
全体(N=815)	28.5	24.4	24.3	8.3	5.4	6.5
【性別】						
男性(n=315)	32.4	10.5	35.9	7.9	4.8	7.0
女性(n=444)	26.4	35.6	15.5	9.0	5.9	6.5
【年齢別】						
29歳以下(n=37)	21.6	5.4	48.6	8.1	13.5	0.0
30歳代(n=81)	33.3	29.6	7.4	11.1	7.4	9.9
40歳代(n=107)	34.6	20.6	20.6	12.1	5.6	5.6
50歳代(n=113)	38.9	16.8	24.8	7.1	5.3	6.2
60歳代(n=166)	30.7	24.7	25.3	9.0	3.6	5.4
70歳以上(n=294)	21.8	31.0	26.2	6.5	5.1	7.8
【地域別】						
牛窓地域(n=143)	14.7	19.6	33.6	7.7	7.0	14.7
邑久地域(n=387)	29.7	25.3	28.7	8.5	2.8	3.4
長船地域(n=275)	34.9	26.2	14.2	8.7	8.4	6.9

6. 家族構成

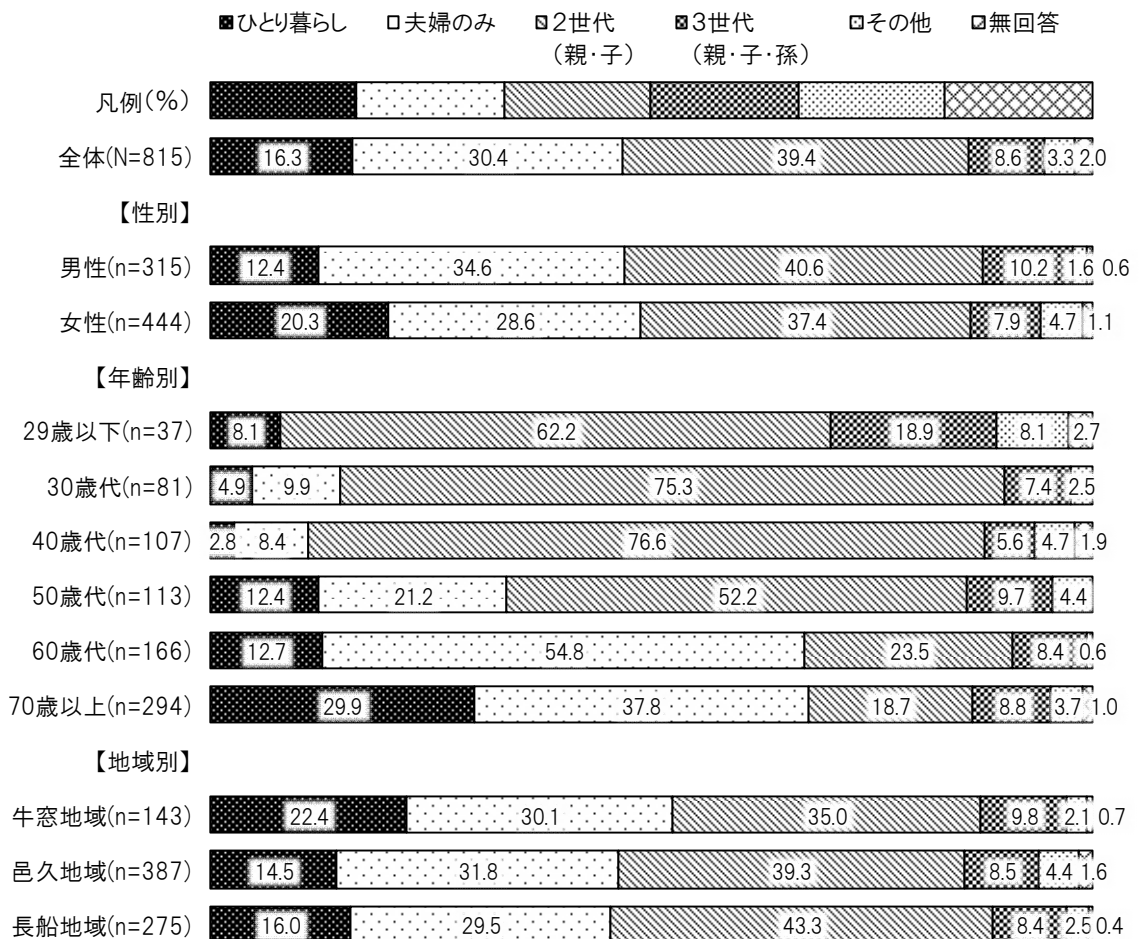
(1) 世帯構成

世帯構成については、全体では「2世代（親・子）」が39.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」（30.4%）、「ひとり暮らし」（16.3%）の順となっている。

性別では、男性で「夫婦のみ」、女性で「ひとり暮らし」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「3世代（親・子・孫）」、30～40歳代で「2世代（親・子）」、60歳代で「夫婦のみ」、70歳以上で「ひとり暮らし」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、牛窓地域で「ひとり暮らし」の割合が他の地域に比べて高くなっている。

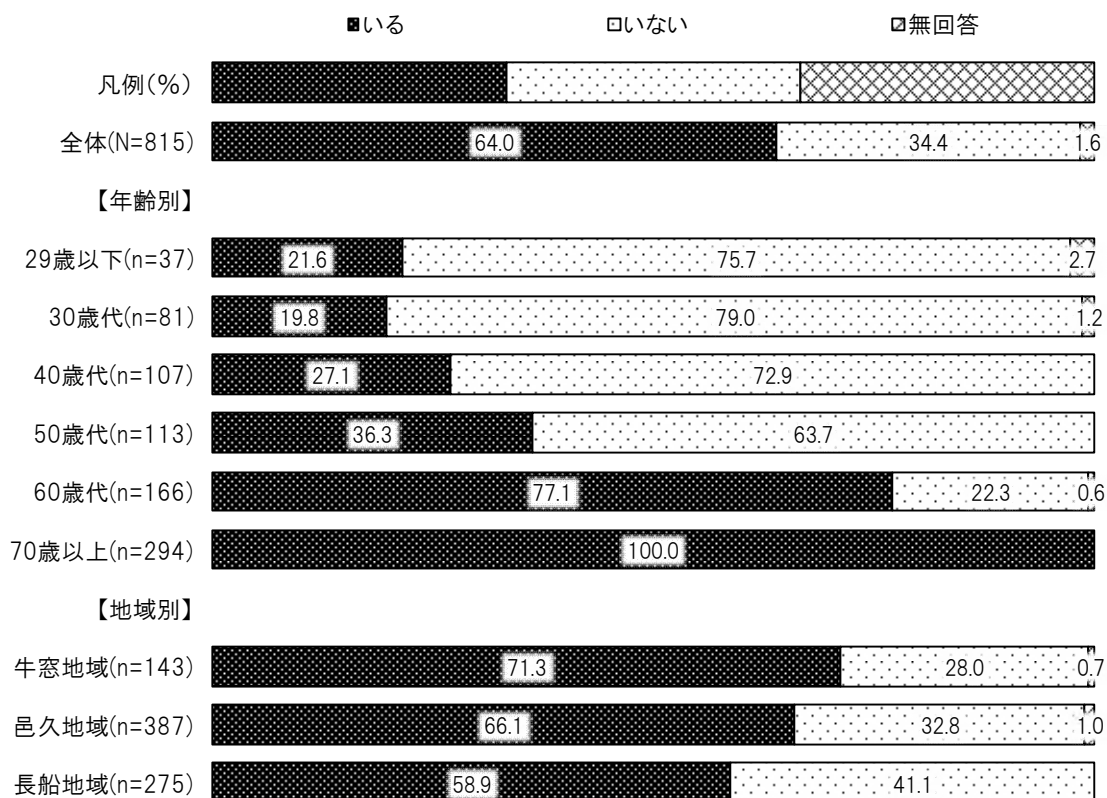


(2) 65歳以上の方の同居有無（自身を含む）

65歳以上の方の同居有無については、全体では「いる」が64.0%、「いない」が34.4%となっている。

年齢別では、自身を含むため60歳以上において「いる」が多くなっており、おおむね年齢が上がるほど「いる」の割合が増える傾向にある。

地域別では、牛窓地域で「いる」が約7割を占め、他の地域に比べて高くなっている。

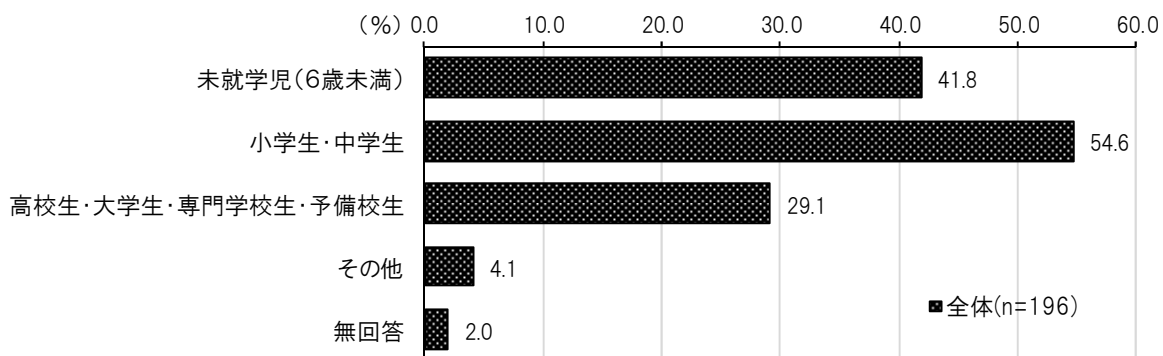
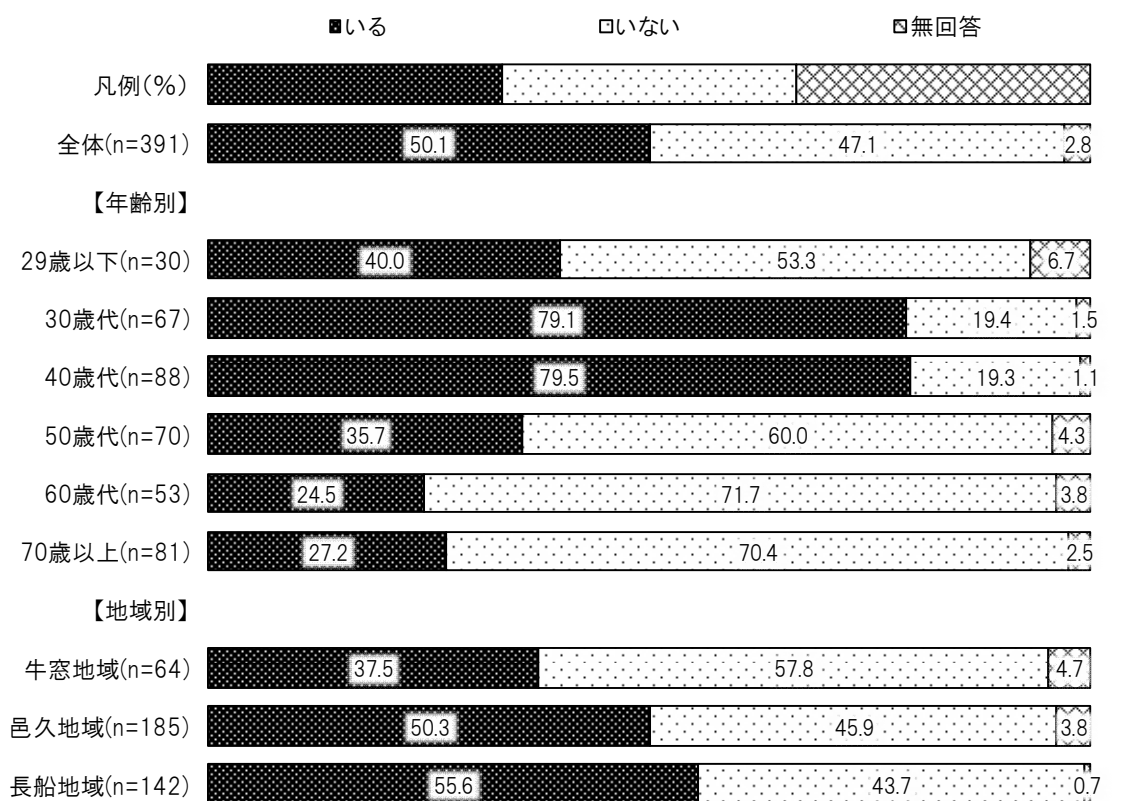


(3) 20歳以下の子どもの同居有無

2世代（親・子）または3世代（親・子・孫）の世帯について20歳以下の子どもの同居有無を尋ねたところ、「いる」が50.1%、「いない」が47.1%となっている。

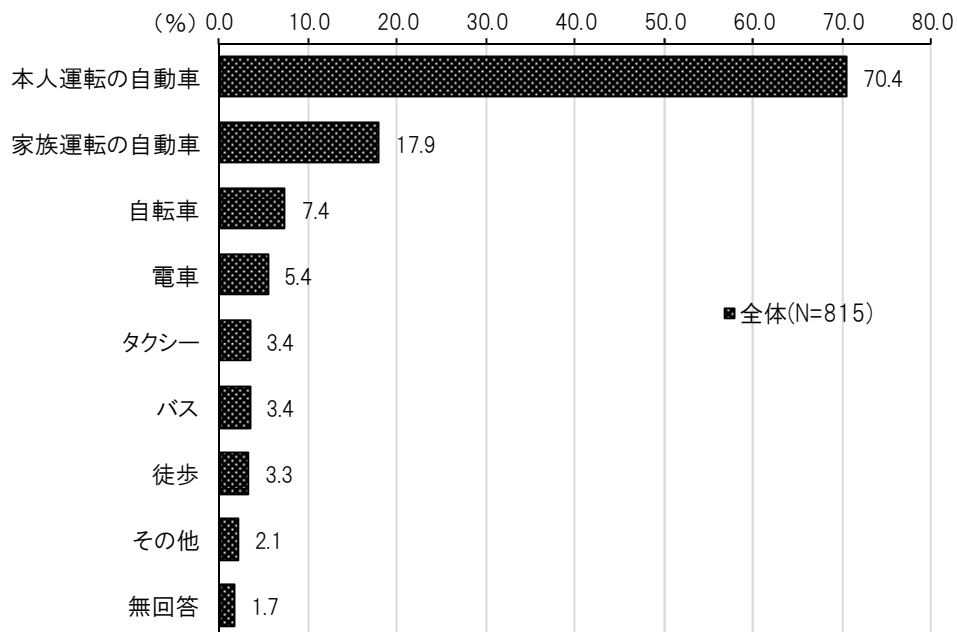
年齢別では、30～40歳代で「いる」が約8割を占めており、地域別では牛窓地域で「いない」が他の地域に比べて高くなっている。

同居している20歳以下の子どもは、「小学生・中学生」が54.6%と最も高く、次いで「未就学児（6歳未満）」（41.8%）、「高校生・大学生・専門学校生・予備校生」（29.1%）の順となっている。



7. 普段の主な移動手段

普段の主な移動手段については、全体では「本人運転の自動車」が70.4%と最も高く突出している。次いで「家族運転の自動車」(17.9%)、「自転車」(7.4%)の順となっている。



性別では、男性で「本人運転の自動車」、女性で「家族運転の自動車」「自転車」の割合がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「自転車」、30歳代で「本人運転の自動車」、70歳以上で「家族運転の自動車」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

地域別でみると、美和で「本人運転の自動車」、裳掛で「家族運転の自動車」、笠加で「タクシー」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	本人運転の自動車	家族運転の自動車	自転車	電車	タクシー	バス	徒歩	その他
全体(N=815)	70.4	17.9	7.4	5.4	3.4	3.4	3.3	2.1
【性別】								
男性(n=315)	82.9	10.8	3.5	3.8	1.9	1.0	2.5	1.6
女性(n=444)	62.4	23.6	10.1	6.8	4.7	5.4	4.1	2.5
【年齢別】								
29歳以下(n=37)	64.9	8.1	18.9	2.7	0.0	2.7	0.0	5.4
30歳代(n=81)	90.1	12.3	3.7	7.4	0.0	0.0	1.2	1.2
40歳代(n=107)	85.0	13.1	3.7	5.6	0.0	0.9	2.8	0.9
50歳代(n=113)	85.0	7.1	4.4	4.4	0.9	0.9	2.7	1.8
60歳代(n=166)	85.5	13.9	4.2	1.8	1.2	1.8	1.8	0.0
70歳以上(n=294)	49.0	28.9	10.5	7.1	7.8	7.1	4.8	3.7
【地域別（詳細）】								
牛窓地域(n=143)	67.8	21.7	4.2	0.7	3.5	8.4	4.2	1.4
牛窓(n=62)	64.5	14.5	6.5	1.6	4.8	12.9	8.1	1.6
鹿忍(n=47)	76.6	25.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0
長浜(n=34)	61.8	29.4	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0	2.9
邑久地域(n=387)	69.3	18.3	9.0	5.9	3.6	3.4	3.4	2.1
邑久(n=117)	66.7	19.7	12.0	6.0	2.6	2.6	5.1	2.6
福田(n=60)	78.3	10.0	13.3	8.3	1.7	1.7	3.3	0.0
今城(n=61)	70.5	16.4	4.9	8.2	4.9	0.0	0.0	4.9
豊原(n=43)	74.4	18.6	11.6	7.0	0.0	2.3	4.7	0.0
本庄(n=36)	77.8	11.1	2.8	2.8	5.6	2.8	0.0	2.8
笠加(n=20)	60.0	20.0	15.0	0.0	10.0	0.0	5.0	0.0
玉津(n=16)	62.5	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	0.0
裳掛(n=34)	52.9	35.3	0.0	2.9	5.9	14.7	2.9	2.9
長船地域(n=275)	75.6	16.0	6.9	6.9	3.3	1.1	2.9	2.5
美和(n=30)	83.3	10.0	6.7	0.0	6.7	3.3	0.0	3.3
国府(n=89)	73.0	19.1	9.0	6.7	3.4	2.2	3.4	3.4
行幸(n=156)	75.6	15.4	5.8	8.3	2.6	0.0	3.2	1.9